

表10-3 プラントン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 23. 4. 18	H 23. 4. 18	H 23. 4. 18	
採取時刻			12:45	13:30	11:50	
全水深 (m)			13.6	14.3	15.2	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	290	110	240
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.			10
3	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	+	880	120
4			Mallomonas sp.			10
5		珪藻	Asterionella formosa	8	+	
6			Fragilaria crotonensis	68	200	116
7			Synedra acus	10	10	1050
8			Thalassiosiraceae-5	60	20	160
9			Thalassiosiraceae-10	130	20	1210
10			Thalassiosiraceae-25			30
11	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	10	90
12	緑色植物	緑藻	Ankyra ancora		+	
13			Chlamydomonas spp.	10	10	60
14			Closteriopsis longissima	10	10	
15			Elakatothrix spp.	20		60
16			Monoraphidium spp.			20
17			Oocystis spp.		+	20
18			Scenedesmus spp.	40	+	120
19	節足動物		甲殻	CRUSTACEA	1	
20	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			1
21			Polyarthra sp.		1	
22	繊毛虫	-	CILIOPHORA	1		
23	不明プラントン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40	20	140
24			鞭毛藻	40		40
25			鞭毛虫	20		80
総数				768	1291	3577
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	290	110	240
			渦鞭毛藻	0	0	10
			黄金色藻	0	880	130
			珪藻	276	250	2566
			ユーグレナ藻	20	10	90
			緑藻	80	20	280
			その他の植物性動物	80	20	180
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプラントンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プラントン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		採取年月日		堤体直上流部	小月橋	龜山大橋		
採取地		採取年月日		H 23. 5. 19	H 23. 5. 19	H 23. 5. 19		
採取時刻		採取時刻		12:42	13:28	11:47		
全水深 (m)		全水深 (m)		21.0	15.8	16.5		
採水深度 (m)		採水深度 (m)		0.50	0.50	0.50		
採水量 (ml)		採水量 (ml)		100	100	100		
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)			(+)		
2			Anabaena (不規則トリコーム)			(10)		
3			Aphanizomenon spp.	(+)	(+)	(+)		
4			Oscillatoria spp.	(40)	(10)	(20)		
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	110	130	70		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		20	+		
7			Peridinium sp.		+			
8	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	160	+	50		
9			Mallomonas spp.		+	30		
10			Asterionella formosa	2620	3020	690		
11		Fragilaria crotonensis		660	440			
12		Navicula sp.		+				
13		Rhizosolenia longiseta			10			
14	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	30	20		
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	20				
16			Closterium spp.		+	10	10	
17			Coelastrum spp.		+	300	720	
18			Oocystis sp.		+			
19			Pandorina morum			+		
20			Pediastrum boryanum		240		320	
21			Pediastrum duplex		+	+	+	
22			Planktosphaeria gelatinosa		+	160	+	
23			Sphaerocystis Schroeteri		+		+	
24			Staurastrum spp.		50	30	30	
25			Tetraedron spp.		+		+	
26			節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1	
27			輪形動物	輪虫	Synchaeta spp.		1	1
28			繊毛虫	-	CILIOPHORA	2		
29			不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)			10
30	鞭毛藻				130	80	30	
31	鞭毛虫					30		
総数				3382	4492	2451		
種類組成		藍藻	40	10	30			
		クリプト藻	110	130	70			
		渦鞭毛藻	0	20	0			
		黄金色藻	160	0	80			
		珪藻	2620	3690	1130			
		ユーグレナ藻	10	30	20			
		緑藻	310	500	1080			
		その他の植物性動物	130	80	40			
			2	32	1			
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理					
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。					
		検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
備考								
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞殻構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋				
採取年月日		H 23. 6. 2	H 23. 6. 2	H 23. 6. 2				
採取時刻		11:40	12:40	11:00				
全水深 (m)		15.2	15.7	16.2				
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50				
採水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(+)	(+)	(+)		
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)				
3			Aphanocapsa sp.	(+)				
4			Myxosarcina spp.	(10)	(10)	(20)		
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	310	160	200		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	+	10		
7	不等毛植物	黄金色藻	Peridinium sp.		10			
8			Dinobryon spp.	10	20			
9			Mallomonas spp.	+	10	+		
10			Synura sp.			+		
11			珪藻	Asterionella formosa	20	280	40	
12				Attheya zachariasii			10	
13				Aulacoseira ambigua	+	+	40	
14				Aulacoseira granulata	+		+	
15				Fragilaria crotonensis	130	2160	40	
16				Thalassiosiraceae-5	120		420	
17	Thalassiosiraceae-10	20						
18	Thalassiosiraceae-25	50	+	+				
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	80	20	80		
20	緑色植物	緑藻	Carteria spp.	10		10		
21			Chlamydomonas spp.	30	50	40		
22			Closteriopsis longissima	10	+	20		
23			Coelastrum spp.	80	400	640		
24			Cosmarium sp.	10				
25			Crucigenia quadrata		+			
26			Elakatothrix sp.			+		
27			Eudorina elegans			+		
28			Eudorina sp.		+			
29			Lambertia judayi	20		10		
30			Monoraphidium spp.	10	+			
31			Oocystis spp.	+	40	+		
32			Pandorina morum	1760	1440	160		
33			Pediastrum boryanum	460	240	560		
34			Pediastrum duplex	+		+		
35			Pediastrum simplex	+	+			
36			Planktosphaeria gelatinosa	520	220	+		
37			Scenedesmus bicaudatus	80	40	+		
38			Scenedesmus ecornis	+				
39			Staurastrum spp.	160	130	70		
40			Volvox spp.	+	+	+		
41			CHLOROPHYCEAE	40	60	100		
42			輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		1	
43			繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Polyarthra spp.	1		2
44					Coleps spp.	1		9
45			肉質鞭毛虫	真正太陽虫	CILIOPHORA	1		
46			不明プランクトン	鞭毛藻	HELIOTZOA			1
47				鞭毛虫		210	80	140
48				40	10	30		
総数			4203	5381	2652			
種類組成			藍藻	10	10	20		
			クリプト藻	310	160	200		
			渦鞭毛藻	10	10	10		
			黄金色藻	10	30	0		
			珪藻	340	2440	550		
			ユーグレナ藻	80	20	80		
			緑藻	3190	2620	1610		
			その他の植物性	210	80	140		
			動物性	43	11	42		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
備考								
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結結の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			H 23. 7. 19	H 23. 7. 19	H 23. 7. 19		
採取時刻			15:00	15:55	14:20		
全水深 (m)			19.0	14.6	14.4		
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50		
採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコム)	(790)	(390)	(510)	
2			Aphanizomenon spp.	(30)			
3			Aphanocapsa sp.			(+)	
4			Coelosphaerium sp.	(+)			
5			Lyngbya sp.	(+)			
6			Microcystis aeruginosa	560	220	830	
7			Microcystis viridis			+	
8			Microcystis wesenbergii	+			
9			Oscillatoria spp.	(10)	(230)		
10	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	210	710	340	
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	10	+	
12	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	70	+		
13		珪藻	Attheya zachariasi	+			
14			Aulacoseira ambigua			+	
15			Aulacoseira granulata	40		40	
16			Fragilaria crotonensis	180	+	+	
17			Rhizosolenia longiseta	20	30	20	
18			Synedra acus	+	+		
19			Thalassiosiraceae-5		20	20	
20			Thalassiosiraceae-10	+	10	+	
21			Thalassiosiraceae-25			+	
22	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	40	50	20
23	緑色植物		緑藻	Chlamydomonas spp.	40	30	10
24		Closterium spp.		10	10	10	
25		Coelastrum spp.		+	480		
26		Cosmarium sp.			+		
27		Elakatothrix sp.			+		
28		Eudorina elegans			3200	80	2000
29		Franceia sp.				+	
30		Golenkinia radiata			+	10	+
31		Monoraphidium spp.			10	10	
32		Nephrocytium spp.			+	+	+
33		Oocystis spp.			360	140	50
34		Pandorina morum			+	+	+
35		Pediastrum simplex			+		
36		Planktosphaeria gelatinosa					+
37		Scenedesmus ecornis					+
38		Scenedesmus sp.			40		
39		Schroederia setigera			+		+
40		Schroederia spp.			210	160	60
41		Sphaerocystis schroeteri			+	+	
42		Staurostrum spp.			+	+	
43				CHLOROPHYCEAE	10	20	10
44	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA			1	
45		—	CILIOPHORA	1		3	
46	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	4	2	1	
47	不明プランクトン	鞭毛藻		60	60	20	
48		鞭毛虫		60	20	140	
総数			5965	2692	4085		
種類組成			藍藻	1390	840	1340	
			クリプト藻	210	710	340	
			渦鞭毛藻	10	10	0	
			黄金色藻	70	0	0	
			珪藻	240	60	80	
			ユーグレナ藻	40	50	20	
			緑藻	3880	940	2140	
			その他の植物性	60	60	20	
			動物性	65	22	145	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5mmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋			
採取年月日			H 23. 8. 4	H 23. 8. 4	H 23. 8. 4			
採取時刻			10:35	12:09	9:14			
全水深 (m)			18.7	13.8	14.0			
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50			
採取水量 (ml)			100	100	100			
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(490)	(630)	(600)		
2			Aphanizomenon spp.	(110)	(50)	(70)		
3			Aphanocapsa spp.	(+)	(+)	(10)		
4			Coelosphaerium sp.		(10)			
5			Microcystis aeruginosa	10260	10500	12590		
6			Microcystis wesenbergii	+	50	+		
7			Oscillatoria spp.	(40)	(60)	(40)		
8			Phormidium sp.	(+)				
9	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	360	450		
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella			+		
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10	50	50		
12			Attheya zachariasii	50	50	110		
13			Aulacoseira ambigua		+	+		
14			Aulacoseira granulata	40	+	390		
15			Fragilaria crotonensis	120	+	100		
16			Navicula spp.	+	10			
17			Rhizosolenia longiseta	50	10	70		
18			Synedra acus	1130	360	2820		
19			Thalassiosiraceae-5	30	60	60		
20			Thalassiosiraceae-10	100	20	40		
21			Thalassiosiraceae-25			10		
22			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	90	50	50
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		+	80		
24			Chlamydomonas spp.	10	50	60		
25			Closterium spp.		10	+		
26			Coelastrum spp.	320	80	160		
27			Crucigenia crucifera			320		
28			Crucigenia sp.	40				
29			Dictyosphaerium spp.		+	40		
30			Eudorina spp.	640	1760	1520		
31			Franceia sp.			+		
32			Gloeocystis spp.	+		40		
33			Golenkinia radiata	+	20	40		
34			Lambertia judayi	40	90	30		
35			Mougeotia sp.	+				
36			Nephrocytium spp.	40	+	+		
37			Oocystis spp.	50	100	130		
38			Pandorina morum	320	+	+		
39			Pediastrum duplex	+		320		
40			Pediastrum simplex	+	+	160		
41			Planktosphaeria gelatinosa	+	320			
42			Scenedesmus quadricauda	+				
43			Scenedesmus sp.	20				
44			Schroederia setigera		+	+		
45			Schroederia spp.	90	80	130		
46			Sphaerocystis schroeteri			40		
47			Staurastrum spp.	+	20	+		
48			CHLOROPHYCEAE	20	30	70		
49			節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1		1
50			輪形動物	輪虫	Keratella sp.		1	
51	Polyarthra spp.				2	2		
52			EUROTATOREA			1		
53	織毛虫	ネトフラグミノゾア	Coleps spp.			3		
54				CILIOPHORA	8	1	1	
55	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOEA	4		4		
56	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	10	20	60		
57			鞭毛藻		10	180	30	
58			鞭毛虫		20	10	20	
総数			14203	15044	20722			
種類組成			藍藻	10900	11300	13310		
			クリプト藻	40	360	450		
			渦鞭毛藻	0	0	0		
			黄金色藻	10	50	50		
			珪藻	1520	510	3600		
			ユーグレナ藻	90	50	50		
			緑藻	1590	2560	3140		
			その他の植物性動物	20	200	90		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理				
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。				
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
備考								
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特微的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

採取地		採取年		採取時刻		採取水深		採取水量	
		H 23. 9. 8		10:40		16.6		100	
		H 23. 9. 8		11:14		13.1		100	
		H 23. 9. 8		10:15		13.8		100	
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコム)	(20)	(20)	(30)			
2			Aphanizomenon spp.	(60)	(70)	(30)			
3			Aphanocapsa spp.	(20)	(+)	(10)			
4			Lyngbya contorta	(+)	(+)				
5			Lyngbya spp.	(80)	(340)	(30)			
6			Microcystis aeruginosa	810	1710	2100			
7			Microcystis wessenbergii	+					
8			Oscillatoria spp.	(120)	(300)	(80)			
9			Phormidium spp.	(20)	(90)				
10	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	80	600	100			
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		+				
12			Peridinium spp.		40				
13			Peridiniaceae		+				
14	不等毛植物	黄金色藻 ラフィド藻 珪藻	Mallomonas spp.	120	100	150			
15			RHAPHIDOPHYCEAE		10				
16			Attheya zachariasi	10	+	10			
17			Aulacoseira granulata	50	+	+			
18			Nitzschia spp.	+	+				
19			Rhizosolenia longiseta	30	50	80			
20			Synedra acus	70	80	80			
21			Synedra rumpens	+	+				
22			Thalassiosiraceae-5	40					
23			Thalassiosiraceae-10	80		20			
24			Thalassiosiraceae-25	10		20			
25			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	60	30	10	
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		+	+			
27			Chlamydomonas spp.	20	180	130			
28			Chlorogonium sp.	+					
29			Chodatella sp.	10					
30			Closterium spp.	70	10	50			
31			Coelastrum spp.	+		+			
32			Crucigenia crucifera	80		160			
33			Crucigenia quadrata			40			
34			Dictyosphaerium spp.	1640	400	1200			
35			Didymocystis spp.	20	60	120			
36			Elakatothrix spp.	20	+	+			
37			Eudorina spp.	640	480	320			
38			Franceia sp.	+					
39			Microactinium spp.	+		800			
40			Monoraphidium spp.	20	10	50			
41			Mougeotia spp.	19720	10360	14400			
42			Nephrocystium spp.	+	+	+			
43			Oocystis spp.	170	20	240			
44			Pediastrum duplex	+		+			
45			Pediastrum simplex	+		+			
46			Planktosphaeria gelatinosa	240		+			
47			Scenedesmus ecornis	80		+			
48			Scenedesmus quadricauda	+		40			
49			Scenedesmus sp.	40					
50			Schroederia setigera	30	10	10			
51			Schroederia spiralis			10			
52			Sphaerocystis schroeteri			160			
53			Staurastrum spp.	10	+	20			
54			Tetraedron sp.	+					
55			Tetrastrum staurigeniaeforme	+					
56			Treubaria setigerum	20		+			
57			CHLOROPHYCEAE	210	30	10			
58	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		1				
59			Polyarthra sp.			1			
60	繊毛虫	多膜口	EURYTOREA		1				
61			POLYHYMENOPHORA			1			
62	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	CILIOPHORA		1				
63			HELIOZOA	3	1	10			
64	不明プランクトン	微小鞭毛藻 (5 μm以下)		200		120			
65				40	40	40			
66				20	40	80			
総数				24983	15082	20764			
種類組成				藍藻	1130	2280			
				クリプト藻	80	600	100		
				渦鞭毛藻	0	40	0		
				黄金色藻	120	100	150		
				珪藻	290	130	210		
				ユーグレナ藻	60	30	10		
				その他の植物性動物	23040	11560	17760		
					240	50	160		
					23	42	94		
検査条件				固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
				分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
				検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
備考				<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコムの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wessenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wessenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wessenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の断面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

採取地		採 取 年 月 日	堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋			
採取時刻		H 23. 10. 13	12:25	H 23. 10. 13	11:55			
全 水 深 (m)		17.6	15.9	16.3				
採 取 水 深 (m)		0.50	0.50	0.50				
採 取 水 量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)				
2			Aphanizomenon spp.	(+)	(10)			
3			Lynngbya spp.	(10)	(10)	(40)		
4			Microcystis aeruginosa	140	80	40		
5			Microcystis viridis			+		
6			Oscillatoria spp.	(60)	(20)	(60)		
7			Phormidium spp.	(+)		(30)		
8	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	520	510	610		
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	+	30		
10			Peridinium spp.	70	90	160		
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	50	110	590		
12			ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE	+		20	
13		珪藻	Attheya zachariasii	30	10	40		
14			Aulacoseira ambigua		20	+		
15			Aulacoseira granulata	60	+	60		
16			Nitzschia spp.	70				
17			Rhizosolenia longiseta			10		
18			Synedra acus	+		+		
19			Synedra sp.			+		
20			Thalassiosiraceae-5	40	40	40		
21			Thalassiosiraceae-10	10	10	10		
22			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	70	90	70
23			緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	30	20	10
24					Closterium spp.	30		+
25	Coelastrum spp.	320			160	160		
26	Crucigenia crucifera	160				120		
27	Dictyosphaerium spp.	+			+	+		
28	Elakatothrix sp.	+						
29	Eudorina elegans	+						
30	Eudorina spp.	+			320	620		
31	Kirchneriella sp.	+						
32	Lambertia judayi	30				30		
33	Micractinium spp.	480			+	240		
34	Monoraphidium spp.	+			+	10		
35	Mougeotia spp.	+				+		
36	Nephrocytium sp.	+						
37	Oocystis spp.	10				60		
38	Pandorina morum				320			
39	Pediastrum duplex					+		
40	Pediastrum simplex	320			+	+		
41	Planktosphaeria gelatinosa	+			120	+		
42	Scenedesmus spp.	80				40		
43	Schroederia spp.	50			50	40		
44	Staurastrum spp.	+			10	+		
45	Tetraedron sp.					+		
46		CHLOROPHYCEAE					30	
47	節足動物	甲殻			CRUSTACEA	1	1	1
48	輪形動物	輪虫			Polyarthra sp.		1	
49	繊毛虫	多膜口			POLYHYMENOPHORA			1
50								
51	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	1		1		
52	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40		20		
53			鞭毛藻	340	60	80		
54			鞭毛虫	40	20	40		
総 数			3062	2073	3323			
種類組成			藍藻	210	110	180		
			クリプト藻	520	510	610		
			渦鞭毛藻	70	90	190		
			黄金色藻	50	110	590		
			珪藻	210	80	160		
			ユーグレナ藻	70	90	70		
			緑藻	1510	1000	1360		
			その他の植物性	380	60	120		
			動物性	42	23	43		
検査条件			固定条件	定量試料: グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料: 無処理				
			分離条件	定量試料: 採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料: 採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。				
			検鏡条件	定量試料: 標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料: プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
備 考								
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

採取地		採 取 年 月 日		堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
		採 取 時 刻		11:45	12:30	11:10
		全 水 深 (m)		17.9	15.8	16.3
		採 取 水 深 (m)		0.50	0.50	0.50
		採 取 水 量 (ml)		100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(+)	(+)	
2			Anabaena (螺旋トリコーム)			(+)
3			Microcystis aeruginosa	+	+	+
4			Oscillatoria spp.		(20)	
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	980	270	260
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella			+
7	不等毛植物	ラフィド藻	Mallomonas spp.	20	+	
8			RHAPHIDOPHYCEAE		10	
9		珪藻	Asterionella formosa	+	+	80
10			Attheya zachariasii	+		+
11			Aulacoseira ambigua	110	120	220
12			Aulacoseira granulata	60	120	+
13			Melosira varians	10	+	
14			Navicula spp.	10	10	
15			Nitzschia spp.	10		+
16			Thalassiosiraceae-10	+	10	
17			Thalassiosiraceae-25	+		+
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	90	10
19	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	10	10	+
20			Closterium spp.	10	+	10
21			Coelastrum spp.	+		+
22			Eudorina spp.	160	+	80
23			Monoraphidium spp.	+	+	+
24			Oocystis sp.	80		
25			Pediastrum simplex	80		
26			Planktosphaeria gelatinosa			+
27			Scenedesmus denticulatus	+	+	
28			Scenedesmus sp.			+
29			Schroederia setigera	10	+	+
30			Schroederia spiralis			+
31			Selenastrum minutum		+	
32			Staurastrum spp.		+	+
33				CHLOROPHYCEAE	30	10
34	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		1	1
35			EUROTATOREA			1
36	織毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.			1
37			POLYHYMENOPHORA			1
38	不明プランクトン		鞭毛藻	140	80	40
総 数				1740	751	704
種 類 組 成		藍藻		0	20	0
		クリプト藻		980	270	260
		渦鞭毛藻		0	0	0
		黄金色藻		20	0	0
		珪藻		200	260	300
		ユーグレナ藻		20	90	10
		緑藻		380	20	90
		その他の植物性動物		140	90	40
固定条件				定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
分離条件				定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
検鏡条件				定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備 考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日		H 23.12.12	H 23.12.12	H 23.12.12		
採取時刻		14:30	16:05	15:25		
全水深 (m)		20.5	16.5	16.8		
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	+		
2			Phormidium spp.	(10) (+)		
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	150 80 30		
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	1		
5			Peridiniaceae	30 10		
6	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	10 1		
7			Asterionella formosa	2		
8			Aulacoseira ambigua	20 +		
9			Aulacoseira granulata	+		
10			Navicula sp.	10		
11			Thalassiosiraceae-5	20 10		
12			Thalassiosiraceae-10	20 40 20		
13			Thalassiosiraceae-25	2		
14	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	50 10		
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas sp.	10		
16			Closterium spp.	10 20		
17			Coelastrum spp.	+ +		
18			Monoraphidium spp.	+ +		
19			Oocystis sp.	+ +		
20			Scenedesmus sp.	+ +		
21			Sphaerocystis schroeteri	+ +		
22			Staurastrum sp.	1		
23			Tetraspora sp.	+ +		
24			CHLOROPHYCEAE	+ +		
25			節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1
26			繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	1
27			肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	3 1 4
28	不明プランクトン		鞭毛藻	120 30 10		
29			鞭毛虫	20		
総数			446	202	109	
種類組成			藍藻	10	0	0
			クリプト藻	150	80	30
			渦鞭毛藻	1	30	10
			黄金色藻	10	0	1
			珪藻	72	50	22
			ユーグレナ藻	50	10	0
			緑藻	10	0	31
			その他の植物性	120	30	10
			動物性	23	2	5
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 1. 18	H 24. 1. 18	H 24. 1. 18	
採取時刻			11:15	11:48	10:38	
全水深 (m)			14.6	15.4	17.1	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)		
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		70	
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	10	
4		珪藻	Asterionella formosa	+	+	
5			Aulacoseira ambigua	30	+	
6			Aulacoseira distans	+	40	
7			Aulacoseira granulata	+	120	
8			Nitzschia sp.		+	
9			Synedra acus	+	+	
10			Thalassiosiraceae-5	20	20	
11			Thalassiosiraceae-10	30	20	
12			Thalassiosiraceae-25	20	50	
13	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Phacus sp.		1
14			緑藻	Trachelomonas spp.		10
15	緑色植物	Actinastrum hantzschii				+
16		Chlamydomonas spp.			80	
17		Closteriopsis longissima		30	10	
18		Closterium spp.		10	+	
19		Elakatothrix sp.			+	
20		Oocystis sp.			+	
21		Planktosphaeria gelatinosa		+		
22		Scenedesmus ecornis		80	40	
23		Scenedesmus spp.		+	+	
24		Sphaerocystis schroeteri			+	
25		Staurastrum spp.	+	+		
26		CHLOROPHYCEAE	30	10		
27	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		1	
28	織毛虫	-	CILIOPHORA		2	
29	不明	ブランクトン	鞭毛藻		120	
総数			250	473	291	
種類組成			藍藻	0	0	
			クリプト藻	0	70	
			渦鞭毛藻	0	0	
			黄金色藻	0	10	
			珪藻	100	130	
			ユーグレナ藻	0	11	
			緑藻	150	140	
			その他の植物性動物性	0	120	
				2	1	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wessenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wessenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wessenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日		H 24. 2.14	H 24. 2.14	H 24. 2.14		
採取時刻		12:08	13:00	11:12		
全水深 (m)		17.1	15.6	16.3		
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	110 80 190		
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	30 10 100		
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+ 10		
4			Synura spp.	2740 1200 2950		
5		珪藻	Asterionella formosa	+ 80 +		
6			Aulacoseira ambigua	+ +		
7			Aulacoseira distans	530 +		
8			Cymbella sp.	+ +		
9			Melosira varians	+ 20		
10			Nitzschia spp.	30 +		
11			Synedra acus	+ +		
12			Synedra ulna	20 +		
13			Synedra spp.	+ 10 10		
14			Thalassiosiraceae-5	20 20		
15			Thalassiosiraceae-10	140 80 360		
16			Thalassiosiraceae-25	30 20 20		
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.	1 1		
18			Trachelomonas spp.	40 30 120		
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii	+ +		
20			Chlamydomonas spp.	160 40 330		
21			Closterium spp.	+ +		
22			Dictyosphaerium sp.	+ +		
23			Didymocystis sp.	+ +		
24			Monoraphidium spp.	30 10		
25			Oocystis spp.	+ + 20		
26			Planktosphaeria gelatinosa	+ +		
27			Scenedesmus spp.	+ +		
28	輪形動物		輪虫	EUROTATOREA	1 1	
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1 2 1		
30			POLYHYMENOPHORA	1 4		
31			CILIOPHORA	2 2 10		
32	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	2 1 1		
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	20 20		
34			鞭毛藻	260 40 480		
35			鞭毛虫	20 60 80		
総数			4186	1717	4696	
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	110	80	190
			渦鞭毛藻	30	10	100
			黄金色藻	2740	1210	2950
			珪藻	770	230	390
			ユーグレナ藻	40	31	120
			緑藻	190	50	350
			その他の植物性動物	280	40	500
			動物性	26	66	96
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 3. 14	H 24. 3. 14	H 24. 3. 14	
採取時刻			14:50	15:56	14:05	
全水深 (m)			16.8	15.9	16.7	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	10	20
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	+	
3			Peridinium spp.	60	320	40
4			Mallomonas sp.	+		
5	不等毛植物	黄金色藻	Synura spp.	140	440	70
6			Asterionella formosa	+	+	+
7			Aulacoseira distans	100	160	
8			Fragilaria crotonensis	+		
9			Nitzschia sp.		+	
10			Synedra acus	10	+	
11			Synedra rumpens	+		
12			Synedra sp.	+		
13			Thalassiosiraceae-10	90	60	40
14			Thalassiosiraceae-25	30	20	10
15	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+	
16			Trachelomonas spp.	10	30	+
17	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	30	280	10
18			Closteriopsis longissima	10		
19			Oocystis spp.	+	+	+
20	輪形動物	輪虫	Synchaeta spp.		2	
21	織毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		1	
22			CILIOPHORA		5	2
23	不明プランクトン	微小鞭毛藻 (5 μm以下)		20		
24			鞭毛藻	200	260	80
25			鞭毛虫			40
総数			740	1588	312	
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	40	10	20
			渦鞭毛藻	60	320	40
			黄金色藻	140	440	70
			珪藻	230	240	50
			ユーグレナ藻	10	30	0
			緑藻	40	280	10
			その他の植物性動物	220	260	80
				0	8	42
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 			

網別プランクトン数月別推移（堤体直上流部）

調査月日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合計
4月18日	0	290	0	0	276	20	80	80	22	768
5月19日	40	110	0	160	2620	10	310	130	2	3382
6月2日	10	310	10	10	340	80	3190	210	43	4203
7月19日	1390	210	10	70	240	40	3880	60	65	5965
8月4日	10900	40	0	10	1520	90	1590	20	33	14203
9月8日	1130	80	0	120	290	60	23040	240	23	24983
10月13日	210	520	70	50	210	70	1510	380	42	3062
11月7日	0	980	0	20	200	20	380	140	0	1740
12月12日	10	150	1	10	72	50	10	120	23	446
1月18日	0	0	0	0	100	0	150	0	0	250
2月14日	0	110	30	2740	770	40	190	280	26	4186
3月14日	0	40	60	140	230	10	40	220	0	740

網別プランクトン数月別推移（小月橋）

調査月日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合計
4月18日	0	110	0	880	250	10	20	20	1	1291
5月19日	10	130	20	0	3690	30	500	80	32	4492
6月2日	10	160	10	30	2440	20	2620	80	11	5381
7月19日	840	710	10	0	60	50	940	60	22	2692
8月4日	11300	360	0	50	510	50	2560	200	14	15044
9月8日	2530	600	40	100	130	30	11560	50	42	15082
10月13日	110	510	90	110	80	90	1000	60	23	2073
11月7日	20	270	0	0	260	90	20	90	1	751
12月12日	0	80	30	0	50	10	0	30	2	202
1月18日	0	70	0	0	130	11	140	120	2	473
2月14日	0	80	10	1210	230	31	50	40	66	1717
3月14日	0	10	320	440	240	30	280	260	8	1588

網別プランクトン数月別推移（亀山大橋）

調査月日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合計
4月18日	0	240	10	130	2566	90	280	180	81	3577
5月19日	30	70	0	80	1130	20	1080	40	1	2451
6月2日	20	200	10	0	550	80	1610	140	42	2652
7月19日	1340	340	0	0	80	20	2140	20	145	4085
8月4日	13310	450	0	50	3600	50	3140	90	32	20722
9月8日	2280	100	0	150	210	10	17760	160	94	20764
10月13日	180	610	190	590	160	70	1360	120	43	3323
11月7日	0	260	0	0	300	10	90	40	4	704
12月12日	0	30	10	1	22	0	31	10	5	109
1月18日	0	0	0	10	260	0	0	20	1	291
2月14日	0	190	100	2950	390	120	350	500	96	4696
3月14日	0	20	40	70	50	0	10	80	42	312